

おがまち日奈久ニュース

記録的大雨

支援物資も届きました

熊本県内は、10日深夜から11日朝にかけて線状降水帯がかり続け、大雨による被害が広範囲に及びました。

令和2年の豪雨を思い出した人もいたことでしょう。やはり、「八代市地域防災マップ」で、避難場所や避難経路を確認しておくことが大切です。非常用品を準備しておくとともに気象情報を確認し、早めの避難を心がけましょう。地球温暖化の影響も大きいといわれていますので、今後も起こりうることを考えておきたいものです。

現在、肥薩おれんじ鉄道や産交バスが運休状態となっており、日常生活に大きな障害となっています。産交バスは8月25日から便数を減らして運行予定です。肥薩おれんじ鉄道



いただいたスコップで作業



いただいた物品の数々

は、川内駅から日奈久温泉駅までの運行について近日中に報道される予定です。

さて、11日の大雨の災害報道を見て、福岡市のNPO法人「いるか」様より寄付物品を贈呈いただきました。

8月13日（水）日奈久住民自治会に届けられたのは、スコップ21本、長靴14足、

作業用手袋です。

さっそく櫛山登り口から流れてきた土砂の撤去作業に使わせていただきました。ありがとうございます。

使用された際は、コミュニティセンターまで連絡下さい。

令和7年9月号
(第193号)
発行者
日奈久住民自治会

日奈久の人口
(7月末現在)
男 1,003人
女 1,212人
計 2,215人
(前月比-3人)
(2009年末3,444人)

敬老会の「式典及び集い」中止のお知らせ

ご長寿とご多幸を祝う敬老会「式典及び集い」は、酷暑のため、中止することになりました。

お祝いの品及び日奈久小学校1年生と日奈久中学校代表者のお祝いの手紙の配付に向けて、校区婦人会が中心となって準備中です。敬老対象者(満77歳以上)のご家庭に校区婦人会がお届けする予定です。

なお、本年度の日奈久校区敬老対象者は716人(前年度は726人)となっています。



今年もありがとうございます

JRA寄付物品目録贈呈式

8月8日(金)日奈久コミュニティセンターにおいて、本年度は、新田町・山下町・下西町第1・下西町第2・馬越町の5町内と住民自治会に対する寄付物品(30万円相当)の目録贈呈式が行われました。

JRAから高橋周平所長と鶴泰羽副所長が来訪され、今田徳次郎住民自治会会長に目録を手渡されました。また、JRAからは、4つの祭りやイベントの開

催に寄付金

(10万円)

をいただい

ています。

ありがとうございます。

ごさいます。



高橋所長より今田会長へ目録贈呈

第26回「九月は日奈久で山頭火」

放浪の自由律俳人・種田山頭火が泊まった昭和5年から70年目に始まった『九月は日奈久で山頭火』も26回目となりました。山頭火が宿泊した木賃宿「織屋」は、現存している日本で唯一の宿です。山頭火が泊まった9月を「山頭火月間」とし日奈久温泉街の魅力をさらに広げ、訪れるお客様、住民ともに楽しめる9月にしようと企画しました。

(九月は日奈久で山頭火実行委員会)

織屋へどうぞ

【日時】9月1日(月)～30日(火)

9:30～16:30

※9/1(月)、9/7(日) 9:30～11:30

くまモン折り紙、お手玉遊びをゆめ倉庫に移って行います。

All Ears '行乞記'

【日時】9月13日(土) 10:00～12:00

【会場】日奈久ゆめ倉庫

【参加費】1000円(コーヒー・お菓子付き)

※高校生以下無料

◎ミニ講話「山頭火って?」前山光則さん

◎朗読 永光貴美子さん、西山信彦さん

日奈久中学生4人

◎音楽 潮谷文芳さんの中国琵琶と山口なおさんの歌

ふく福めぐり

会に行こう路地裏の神様へ

【日時】9月21日(日)

受付9:00～(日奈久ゆめ倉庫)

散策9:30～12:00

【参加費】1000円

※道中5カ所のクイズ正解者には、各1人に地元特産品ゲットのチャンスあり

※先着30名まで参加賞有り

俳句寺子屋

【日時】9月23日(火) 10:00～11:30

【会場】日奈久ゆめ倉庫

【講師】山下しげ人さん

参加無料、当日参加OK!

おりや句会

【日時】9月23日(火) 13:00～16:00

用紙配布&受付9:30～

(12時30分までに5句提出)

【会場】日奈久ゆめ倉庫

【参加費】1000円

【指導者】山下しげ人さん

山頭火ウォーク

【日時】9月28日(日) ※小雨決行

受付7:30～8:10(日奈久ゆめ倉庫)

出発8:30

【参加費】500円

(記念タオル、入浴券、保険代込み)

【申込先】日奈久温泉観光案内所ウォーク係

TELまたはFAX (0965-38-0267)

【申込み締切】9月25日(木)

【コース】ゆめ倉庫～二見洲口龍神往復

※帰りは列車で移動可

※列車利用の有無を明記して申込む

※昼食は各自でご準備ください

日奈久シネマ

【会場】日奈久ゆめ倉庫 入場無料

◎9月14日(日) 18:30～

「男はつらいよ『寅次郎恋やつれ』」

◎9月21日(日) 13:30～

「男はつらいよ『寅次郎夕焼け小焼け』」

「ひなぐさんぽwithちくワン」(紙芝居を

映像に) 両日同時投影

待ってまあす ゆあ俳句、絵手紙

【募集締切】9月30日(火) 当日必着

【送付先】日奈久温泉観光案内所

〒869-5135 八代市日奈久中町516

【入賞発表】10月10日(金)ホームページで

展 示

日奈久の昭和の写真を展示します

【会場】日奈久ゆめ倉庫 (16日は休館)

まちなかギャラリー

まちを歩きながら山頭火の句を楽しんで！
くまモン山頭火もお出迎え♪

※詳しくは、ポスターやパンフレットで

「ありがとう」が
行き交うまち 日奈久

身近な人に「ありがとう」
愛する日奈久に「ありがとう」
訪れる人に「ありがとう」



これで安心

コミセンの階段に手すり設置

日奈久コミセンの階段は、壁側には手すりがなく、上り下りに不自由を感じる人もいました。このたび、壁側にも3階まで手すりが設置されました。これで安全に上り下りできるようになりました。



階段の手すりにつかまって安心

読者の広場

「忘れ行く町」 馬越町 西村謙剛

交通安全協会として活動中、小学校で全国自転車競技会に参加するため、朝7時から練習。その前に一人一人の自己紹介。「私は馬越町の西村です」。すると生徒から「馬越町はどこにあるのですか」と。私はびっくりしました。少子化は悲しいですね。

我が町は、春は鳩山の桜、夏は海水浴や潮干狩り、タコ、ウナギ、カニ、貝等、秋葉神社で相撲を取り、日々の中で生活が楽しい町でした。また、鳩山には日本少女歌劇団も見学に来ています。小学校では遠足の場所にもなっていました。馬越町は、こんな所です。

「火の国旅情」のメロディーで歌う春は鳩山桜咲き 夏は海辺でシャクを探る 秋は子供が相撲取り 冬はいで湯で花が咲く

9月の行事から

1日(月)～九月は日奈久で山頭火
15日(月) 敬老の日
23日(火) 秋分の日

〈会議等〉
12日(金) 市政協力員例会
16日(火) 運営委員会
18日(木) 広報部会

【お詫びと訂正】8月号で「アグリ日奈久」を日奈久アグリと誤って記載しました。お詫びして訂正します。

住民自治会運営委員会から

8月18日(月)開催の運営委員会から、記事に掲載しなかった主な事項をお伝えします。

○事務局

・八代市地域みらいづくり補助金で、竹灯りに使う工具を購入することになりました。

・校区自主防災会総会が8月28日(木)午後7時からゆめ倉庫で開催。危機管理課の講話は、災害対応のため中止。総会のみ開催です。

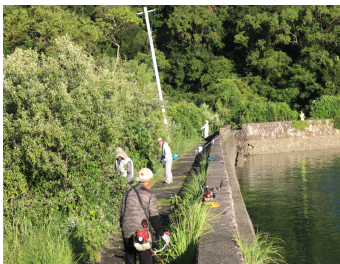
町内一斉清掃は、10月に実施される予定です。期日が決まったらお知らせします。

早朝より頑張った 津森小学校遭難の碑広場の 清掃

7月26日（土）午前6時から津森小学校遭難の碑広場の清掃活動が行われました。会場には午前6時には次々と人々が集まってきました。生活環境部会や町内連絡委員会、婦人会のメンバーの他にも地域住民達が早朝にもかかわらず約35人が参加しました。



枯れ草を集める参加者



通路の草刈りをする参加者

参加者は、暑さに負けずに木々の剪定や草刈りに取り組まれました。事前に草が刈り取ってあったために、枯れた草を木々の根元に集めたり、小さな草まで取り除いたりして汗を流しました。

また、鳩山の記念碑に向かう通路の草刈りや木々の剪定にも汗を流し、約1時間ほどですっかり綺麗になりました。皆さん早朝より暑い中大変お疲れ様でした。

次回は、10月中に実施される予定です。次回も皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

福祉会コーナー

いきいきサロン紹介 塩北・新開町

塩北・新開町のサロンは、7月2日（水）午前10時から10名の参加で、毎年恒例の七夕飾りの総仕上げをしました。以前は、大笹を公民館に飾っていましたが、3年前から小笹を自宅に飾るようになりました。

皆で楽しく輪つなぎ・星飾り・ちょうちん等を作り、切れ残りの折り紙もつないで七夕飾りにしました。飾り物には一つ一つ意味があるそうです。（輪つなぎは、人とのつながりや夢が続いていくことを願う等）最後に短冊に健康や平和の願いを書いて、各自の笹に飾り付けました。皆さん「良い七夕飾りが出来ました」と喜んで持ち帰りました。



各自の七夕飾りが完成し大満足

恒星塾 開催

交通安全と詐欺防止を学ぶ

7月25日（金）ゆめ倉庫において八代交通安全協会と八代防犯協会から講師を招き、「恒星塾講座」を開催しました。

主な内容は、交通安全と特殊詐欺防止についてで、校区老人会の鶴寿会・いそみ会・千代永会員18人が参加しました。

「電話で『お金 詐欺』について、八代防犯協会の池田さんと武原さんが話されました。電話でお金の話が出たらまず警察に相談『電話066-81-2567 詐欺ずす』で良いそうです。架空料金請求詐欺、還付金詐欺等についても説明がありました。

また、「ゆっぴー安全メール」の会員募集中と話されました。子どもたちの安全確保や地域の犯罪防止を図るため、県内で発生した緊急治安情報を携帯電話・パソコンにその都度配信します。主に声かけ、不審者等や災害発生時の住民の避難や安全確保等の情報等に関する情報が送られて来るそうです。

日奈久老人会舞踊の会は、現在会員が10名です。月に3日、月曜日の午前10時から12時まで日奈久ゆめ倉庫で練習しています。

講師の藤村紫雲さん（千反町）に曲と振り付けを決めていただき、そのお弟子さんの藤村皇寿さん（築添町）が教えてくださっています。



一緒に踊りを楽しみませんか

日奈久老人会舞踊の会

立っていると思います。曲が流れると自然と体が動くので、体力作りにもなります」との声。

10月になると、日奈久阿蘇神社、二見の下大野神社、日奈久温泉神社、塩屋八幡宮のお祭りで踊ります。会員が減ってきているので、新しい会員を募集しています。「見学だけでも良いので、興味があればの方は、城下（電話80-2117）に連絡ください。おまちしています」と城下さん。



ご参加をお待ちしています

暑さに負けず学ぶ夏 サマースクール開催

今年も日奈久中学校では、夏休み期間中に4日間のサマースクールが実施されました。

夏休みの学習習慣・生活リズムづくりと生徒自身が学習の定着度を知り、弱点や目標を明確にすること等を目的としています。

全校生徒が自主的に参加し、今年も、英語を竹林茂晴氏（新田町、元学習塾経営）が担当され、数学は、木本芳照氏（永砥町在住、元第四中学校）が担当され丁寧個別指導をしていただきました。他の教科は日奈久中学校の先生方が指導されました。



講師の話に聞き入る参加者

やつしろ万灯会 竹灯籠ワークショップ

企画イベント部長 中山諭扶哉

7月18日（金）昨年同様、社会福祉協議会からの依頼でワークショップの講師として、

日奈久住民自治会から中山諭扶哉・山田重典・中山由紀夫の3人が坂本町地域福祉センターで竹灯籠の製作をしました。



当日は猛暑の中、竹の切断・加工まで、ボランティアを含む総勢20人で熱心に製作し、盛況のうちに作業を終えることができました。

8月15日の万灯会（ハーモニーホール）では、無事に式典を終わらせることができたこと感謝の連絡を頂きました。来年も頑張ります。



ともった竹灯り

駅ノートから

○生まれて初めて日奈久温泉に来ました。駅で忘れ物をしましたが、大切に預かっていただきました。

日奈久温泉センター「ばんべい湯」まで歩いて行きました。一つ残念だったのは、駅のトイレが「ぼットン」とびっくり。こんなすてきなおれんじ鉄道に乗ってきたから、トイレが水洗だともっと良いです。次回来る時までに新しくなっていると良いな。岡山県れいこより

ばんべい湯から
8月よりソフトクリームの販売を始めました。どうぞご利用ください。

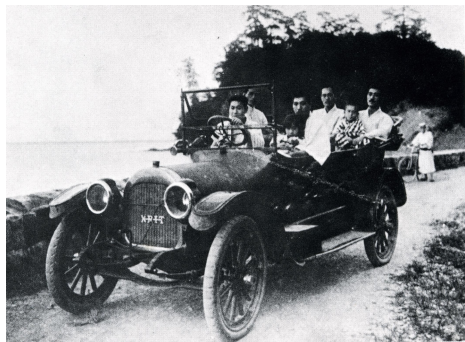


日奈久歴史散歩 温泉客輸送のことはじめ

今から135年ほど前、大日本帝国憲法（明治憲法）の発布、帝国議会開設、初の衆議院議員総選挙が行われた頃、日奈久一八代間を走ったのは人力車でした。人力車は外国製馬車からヒントを得て創作されたものです。（復元車は金波楼に展示中）

しかし、明治29年鉄道が八代まで開通すると、これを契機に乗合馬車が営業を開始しました。馬車は鹿児島県から2台購入、御者も二人雇い入れました。これは大変好評で福岡など県外からも温泉客が来て利用するようになり、日奈久はますます賑わいました。しかし、人力車は日奈久駅・温泉街間の温泉客の送迎をする程度に数を減らしました。

明治41年、八代一人吉間が開通、やがて鹿児島まで全線開通し鹿児島本線と呼ばれました。鉄道を日奈久に通そうと明治44年「海岸線促進期成同盟会」が結成され、大正12年、八代一日奈久間が開通、日奈久駅が完成しました。日奈久は竹輪や竹細工などの名産品と共に、一躍人気の



鳩山付近を走る浦川ハイヤー

温泉郷となりました。（現在の日奈久温泉駅の建物は当時のものです。この路線は肥薩海岸線といわれましたが、昭和2年鹿児島本線と改称されました。）

大正3年、日奈久の浦川元吉がドイツ製の自動車を購入しハイヤー（高級タクシー）を運行。その後、浦川バスの営業も始めました。

昭和18年、太平洋戦争の戦局が厳しくなると全ての機関は統制され、バス業界は九州産業交通株式会社の設立によって、全県下統一して独占化されました。

（本文は中原文敬著「日奈久の歴史」その他を参考にしました。）